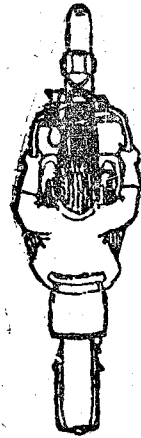


通信

◎東京だより

田 中 生



肅啓、平年以下の低温とは申ながら矢張り盛夏らしき暑さにて都人士は田舎生活の涼味を羨望致居候、例の日比谷公園等に於て市が納涼會を催し人工的自然化に力め居候得共、慕ひ集る者數多きと自然化に無理あることゝ納涼が苦熱と相成、餘り感心したものに無之候、反之郊外附近に於ける納涼又は海水浴場は相當客を呼ぶ例に候得共、此處は亦近年稀に觀る閑散さにして經濟界の不況を物語り居り候、

聯立内閣の政治上不合理なることは屢々報道致候處に有之、思ひ切つて憲政會單獨内閣の成立を一日も早く實現せしむべく六月誌上に於て極論致置候處、遂に吾人の希望は實現されて痛快に不堪候、されど如何なる名分の下に兩派が協調を破棄するや其の對策に關する兩派の態度に就ては内閣成立以來吾人の好奇心を唆らしめたる處に候、懸引に抜目のない政友會は、遂に税制整理案を捉へ政策の一致せざることを理由として協調破棄を目論見たるも、今更政策

の不一致でも無之、吾人をして強て倒閣の口實を造りたるに非ざるかと思はしめ候、當時政友會は倒閣後に於て憲政會内閣が成立せば大變なりと言ふ懸念を有し、憲政會も亦政本の合同成立せばとの懸念を存し兩者の懸念は何れも其の黨の運命を支配するものに有之、黨派に關係を有せざる吾人までも緊張致候、果たせるかな政友出身三相は意見の不一致を主張するも辭職せざる態度を示し、遂に加藤内閣の總辭職を餘儀なくせしめ申候、其の老狡な遣り方は舊勢力に支配せらるゝ政治家の感心を買ふ所ならむも、田中新總裁の聲明に係る公明正大を裏切りたる行爲にして、公黨としての價值を疑はしめ申候、兩黨が何れも協調決裂の顛末を發表し罪のなすり合ひを致居候得共、固より不自然の結合に外ならざるを以て双方に罪ありと可申候、内閣の總辭職を餘儀なくせしめた政友會は直に豫定の行動に出で、本黨との提携を策し、兩派の幹部が會合するやら有志大會を開催するやら、俄に喧嘩の仲直りを實現せむことを宣傳し持ち前の小策を弄して政權の獲得を企て候得共、天下の

輿論は政友會又は本黨の諸氏が觀る程低級なものに無之、嘗て存在の不要を唱へられ憲法治下の奇形兒として排斥せられたる元老でさへ、政友會と本黨の小策を斥けて遂に加藤子の適任なることを奉答したるやにて大命は再び加藤子に降り、茲に憲政會單獨内閣の組織を觀るに至りたる次第に有之、二三年前に於ける我國政治に比して遂に進歩したることを喜ぶと共に、既成政黨が舊式政治の域を脱せずして政治が所謂政治家の玩弄物に非ざることを訓へたる一點は何物を犠牲とするも得難き教訓に有之候。

今回の政變に方り所謂元老が世上に於ける揣摩臆測と俗論愚説を排して加藤子を奏薦したる聰明を頌揚し、若し今回の如き場合に於て元老なかりせば我國政治は遂に危殆に陥るべきことを唱ふる向有之候得共、今回の一事を以てして元老必要論を唱ふるが如きは誤りたる思想と申すべく、政黨の基調さへ確實ならば政權は次黨に移るべき當然の義にして、前内閣が政憲兩黨の聯立なりし關係よりするときは當然本黨に移るべき筋合なるも、肝心の本黨は内紛議を

生じ、政友會に合同せむとするもの、憲政會と握手せむとするもの等を頻出し、外は無爲無策の譏を受け到底國民の信頼を得るに足らざりしを以て、政權が第一黨たる憲政會に移りたるは當然のことに有之、是を以て元老制度を謳歌するが如きは吾人の斷じて採らざる所に御座候、

倒閣の目的を達した政友會は、本黨との提携宣傳に依つて當然政權は己れに期するものと爲し、喧嘩分れた女房に再縁を迫るが如く、自ら進んで合同を申込み、世間をしてその兒戯に類する行動に嚮せしめ氣勢一向に昇らず、加藤子に天命降下して油揚を爲に浚はれたやうな憂目を觀るに至り候は舊式政治の時運に副はざることを裏書し、聊か氣の毒の感に不堪候、由來同會は我國政治上古き歴史を有し、夫れだけ政權獲得の難有味を知るが故に常に政權にありつかむことに焦慮し、其の手段方法を選ばざるが爲に著しく世上の批難を招く所に有之候、固より政黨が其の持する政綱に基き政策を實現せむが爲に内閣組織を希望するは當然のこと、は存候得共、主義政見を異にするも利あら

ば立黨以來の政敵とも相提携して恥する所なく、政見の相異主義の不一致等には頓着する所なく時の有利なものに附合する振舞は宛然女郎の行動に似て識者をして嘔吐を催さしめ候、今回の政本合同も畢竟するに此類に外ならずして之を眞に受けて政友本黨の幹部が策動する義に候は、吾人は兩黨が餘り世間を無視し馬鹿にしたることを糾彈すると共に今まで眞正の野黨として政治を監視したる本黨の爲に惜み其のこと無からむことを望むものに御座候。

幸にして吾人の此期待は合同の暗裡に顯はれたるものと申すべきか、田中床次兩總裁に依つて取結ばれたる提携の申合は其の内容茫漠として捕捉する所のものなく、吾人をして何の爲の申合せなるやを疑はしめ申候、第一に政治の公明を期したることは當然のことを説明したるに過ぎず、此公明を宣言して常に實現せざるは政友會從來の歴史に徴して明かに有之、是れが爲に政友會今日の現狀を觀るに至りしものにして反古と同様價値無きものと可申、其の第二は此提携が中央政界に於て行はるゝことを取極めたるもの

にして地方政界は矢張り依然として兩黨の自由競争に放任せられ響て中央に於ける提携が自然に薄らぎ遂に破棄せらるゝに至るべきは識者を俟つまでも無きことゝ被存第三は個々の問題に付其の都度協定することを取極めたるものに候得共、兩者が採用する主義政見に合致する個々の問題に就ては、假令此申合せ無きも同一結果に落ち附くべく、強て申合の必要も無之と被存候、殊に選舉法の改正貴族院改革問題等に關する兩者の意見は相容れざるものありしを以て提携の申合せも其の効果を疑はしめ申候、來るべき議會に於ては稅制整理案を附議せらるべく、政友會は這般の主張に鑑み極力反對せざるべからざる地位に在つて、地租移讓の如きも亦論争の具に供せらるべく、此場合果して兩者の提携が實現せらるゝや大に疑ふ所に御座候、若し理論を離れ強て説明するならば、現内閣を倒壞する點に付きての申合と觀るより外無之候得共、此種運動を默視するが如き憲政會にも無之候に付、何れ解散は覺悟することを要すべく此場合に於ける總選舉は從來の如きものに非ず政友の地

盤いつまでも政友のものに非ざるを以て大に決心すること
を要すべくと存候、併しながら兩黨今日の如き惰性を有するに於ては到底勝算の見込無之に付、政治季節の近づくに方り何とかして心氣一轉の方策を講ずることを要すべく、總裁の首を取換へたる位にて更始一轉を國民に信頼せしめむとするが如きを以てしては信を得る能はざる義と存候、
兩黨の勢力萎靡振はざるが故に憲政會單獨内閣の成立を觀るに至りしものなるを以て、新内閣の施政如何は自黨を生滅せしむるの鍵と可相成候に付大に自重するを要すべく、大隈内閣當時に噂され批難されたるが如き行動を再びせざることに心懸くべく、此後は政友の一部意見を迎合するの要無之に付、從來聲明したる主義政策を徹底せしめ憲政會の眞價を國民に周知せしむるの要有之、來るべき議會を解散して其の主義政策が國民の期待に反するの結果を觀るに至らば勇らしく之を投げ出すの覺悟を要すべしと存候、吾人が現内閣に望む所のものは財政行政の整理を勵行することに付ては更に異論なき所に候へ共、誤りたる緊縮

政策に促はれて何事も之れ爲すべからずと爲すが如きは大に改むるの必要可有之、政友會が近時積極政策を高調して不景氣に對する不平に迎合せむとするの時、特に此點を考慮する必要可有之、濱口藏相の如き 今の消極政策は積極

政策の前提なりと申居候得共、國家生活は政府の政策如何を問はず常に躍動しす時も中止する能はざるものなるを以て、假令將來積極の日あるを想ふも現時の躍動に對して政府は善處するの責務を有するものに有之、若し之を爲さずとせば政治の責務を果たすものと言ふべからず、故に事業本來の有する效果に着眼して其の事業の計畫を認め國民生活の安定を圖ることを要すべく現年度政府豫算の如きは何等其の事業の觀るべきもなく唯た從來の豫算を數理的に掲げ以て能事終れりと爲すが如きは、斷じて吾人の許さざる所に御座候、例へば近時内務省が立案したる自動車道路改良案の如きは其の施行に經費を要すること勿論なるも、其の效果に依りて投じたる經費は纔に一年を出でずして償ひ得べく、之を實現することに依つて刻下の急務に迫れる

失業者を救濟し鐵道の敷設を中止するを得て一舉兩得なるに拘はらず、こと積極事業なりとして之を斥くるが如きあらば、國民は必ずや現内閣の政治責任を疑ふに至るべく、總選舉の結果は測り知るべからざるものあるを以て、從來の政策を緩和するの極めて必要なる義と存候。

政友と本黨との提携が現内閣倒壞の下準備とせば、來るべき議會を解散して信を天下に問ふべきは憲政會の踏むべき常道に有之、是を決行することは吾人の望む所に候得共近時本黨との提携を唱ふるものあり、本黨が政友會の如き積極政策を根本主義とせず、消極に傾きたる折衷政策を唱導するに鑑み或は可能性あるものゝ如く吹聴する者も不尠候、加之本黨が政憲兩黨より黨員の爭奪に遭遇し四苦八苦の態なるを以て如何に進展するや難計候へ共、吾人は賢明なる憲政會の諸氏が、恐らくや此の如き暴舉に賛加するとは考へられず、納涼一夕の話興として聞き流し度候、併しながら現内閣組織以來其の孤獨に感じたるものか政務官の選任に方り、與黨の感ある公正會を捨て、人もあろうに數

年來反對の態度を持し争ひ來りたる上院研究會幹部を拜み倒して政務官に拉致し來れるが如きは吾人の解する能はざる所に有之候、固より政黨の強固ならざる現在に於ては、政府として上院との交渉聯連を圓滿ならしむる必要可有之とは存候得共、之を迎ふるに研究會を相手とし與ふるに政務官を以てするは聊かその自信を疑はしめ申候、のみならず研究會を通して本黨との提携を策するには非ざるかと疑はしめ、政本合同提携の薄弱なるとに綜合して世評の必ずしも無理からざるを覺へしめ申候、希くば單獨内閣の本領を發揮して治政の實を擧げむことを望む次第に御座候。

内閣の更新に依つて例の如く高官交迭の噂を呼び起し大手町は一時其の噂にて騒ぎ立て候、湯淺内務次官が法制局長官に轉し後任は潮地方局長が榮進するとか或は省外よりつれ來るとか勝手な噂を致し居、湯淺次官は憲政會系に屬する代議士間に於て頗る評判悪しきが故に此際辭職すると迄申立て之に對しては省内有識官吏は省前途の爲に眞に憂慮したるやに被存候、某大官の言ふ所に依れば憲政會所屬

の代議士が同氏を批難することは、同氏の嚴正公平を裏書きするものにして、事務處理の爲には同氏の眼中政黨政派の區別なく此關係を全く度外視して行政するが故に今日迄内務行政に付批難を受けざりし所なるも、後任者が大隈内閣當時に於けるが如く政治的旗色を濃厚ならしむるに於ては從來爲されたる地方長官の選叙等は全く根本より覆され遂に地方政治を政黨化するに至るならむと嘆き居候、併しながら今は幸にそのこと無くして政務次官の交迭に止まりしは内務行政の爲幸と申すべく候、従つて世評に在るが如く山梨縣知事の退官に依つて假令一部地方長官の交迭あるにせよ湯淺次官の存在する以上は餘り露骨な交迭も行はれざるべく噂され居候、然るに這般の事情に疎き地方長官が聊もすれば小策を弄して御機嫌をとらむとするものある趣に有之、却つて其の不都合を詰られたる連中も尠なからざるやに聞及候、此の如き連中は所謂形式的の良吏に外ならずして地方政治を茶毒するものに有之候に付、事情の如何を問はず嚴正なる觀察の下に誠首し後進の有資格者なる三

邊行政、松本河川、篠原都市計畫、湯澤保健等の課長を昇官せしむることが善政なりと申居候、吾人も亦之に賛成するものにして浮草の如き心地して地方政治を執行することあらば我國地方行政は一官吏の爲に蹂躪せられて地方住民永遠の福祉を増進する所以に無之、湯淺次官に革新を望むて已まざる次第に御座候。

毎年度豫算の編成時期に至つて廢止論を唱へられ、漸くにして減額の程度に止まり候道路改良費も、其の効果は國民の前に表現され近くは箱根坂路の改良、京濱國道の開通、二子架橋等相次いで竣工り我國路政の爲欣快の情禁する能はざる處に御座候、箱根坂路と京濱國道の改良は政府道路改良費豫算の成立と同時に計畫せられ、政府の補助あるが爲に縣會の議決を觀るに至りしものに有之、二子架橋も亦同一にして大震災を受けて一時事業中止の己むなき有様なりしも、長岡前局長が事業の中止に同情を寄せ補助更新の途を開かれてより以來俄に工事の進捗に力め今日完成を觀るの運に至りしもの、由に有之、道路改良豫算が地方道路の

改良を助成したる効果の偉大なる今更申迄もなきことに御座候、某政務官が其の政談演説に於て政友會の放漫政策を罵り其例を道路改良費の經理に求めて攻撃し、前内閣は毎年數百萬圓の道路費を支出して總花的に之を振りまき黨勢を擴張したるものなりと申候とかにて、當局事務官連は極度に憤慨致居候、其の言ふ所に依れば道路改良費豫算は政府財政の關係上繼續費として編成するを得ざりしが爲に己むなく毎年度之を要求し其の豫算の範圍内に於て、政府の決定したる道路政策に則り施工箇所を選択して補助すること爲したるものにして其の間黨略等の介入を許さざるものに有之、今日補助を受けつゝ在る工事が道路政策の見地よりして最急務に屬するものなることは何人も疑はざる所なるのみならず、數年に亘る工事に對し一年度毎に補助を契約したるも、夫れは繼續豫算に非ざるの結果にして一年度に於て補助を爲したる以上其の次年度以降の補助は政府道路改良費豫算の存在する以上、地方に於ては補助を受くるものとして事業を計畫し此間何等齟齬したること無之、爲

に地方財政を紊亂したることを聞かざるのみならず其の經理が違法に非ざること勿論なりと申居候。

吾人も亦政友會内閣の採つた政策總てに對し贊意を表するものに無之候得共、政治を談するに當つては正を正とし邪を邪とし公平なることを要し、素に揣摩臆測他人の正當行爲を罵詈するが如きは慎むべきことに屬し候、大正八年道路法制定以前に於ては何れの内閣も道路政策に付攻究したるもの無之、地方の施設に放任したるに政友會内閣の時に至つて此政策を樹立し、始めて我國豫算に道路改良費を計上するに至りしものにして同豫算の今日在る全く同内閣の効に歸せざるへからず候、然るにも拘はらず自れは誤りたる消極的思想に耽溺して何等之に對抗するに足るべき事業を計畫せず、他人の計畫を呪咀するが如きは同氏の政治的能力を憐むと共に是等低級政治家の爲に煽動せられさらむことを希望する次第に御座候、若し憲政會内閣が政友會内閣の夫れの如く地方地盤の強固を圖らむとせば、從來把持する消極政策を此際緩和して萎靡振はざる地方産業の進

展に資すべき事業を起すことに有之、是を爲すことが獨り憲政會の爲ならず否な國家の隆盛を期する所以なるを以て、彼の自動車道路の改良を實行したる上他人の事業を批評することこそ必要と存候。

盛夏半休のとき、地方公共團體の幹部が内藏兩省の長屋に來て汗を拭きながら廊下を飛び廻り居候に付何事ならむと存居候處、折角内務省が通して呉れた起債の許可が大藏省で引懸り進行しないので促進運動に上京したとのことにして、御役目御苦勞のこと、存候得共、殆んど各市の連中が一齋に申合せた如く上京致候は、何か理由の伏在すること、考へ詮議致候處、實は内閣交迭の噂専らにして若し交迭するものとせば置き土産に許可を得度下心の由に有之、抜け目ない公共團體吏員の心理に敬服すると共に内閣交迭の場合に於ける何物かを想像せしめ申候、大藏省の起債起可方針は言ふまでもなく消極的にして、此頃は起債額を減少することに腐心し事業費の内容にまで立至つて彼是申候趣に有之、某市水道の如きは昨夏の旱魃に鑑み最小限

度の擴張を計畫し水道使用料を以て償還する方針の下に起債せしめむとするものなるも大藏當局は起債額の減少を圖るが爲に、送水管の縮少やら人夫賃の單價に迄立至つて急造的技術家の如きことを申候趣にして弱り居る向も尠なからざるやに見受けられ候、某市吏員の如きは何日滯京するも許可の見込なく亦此れ以上に陳情嘆願するの必要なきを以て一と先歸郷するが、早魃の爲に若し給水不能に爲らば現内閣消極政策の爲に事茲に至りしを宣傳して大に氣勢を擧ぐる覺悟なる旨を申居、其のときに至り前非を悔ひ彼是申候も實効なきを以て大藏當局の覺悟を要すなどと捨科白を述居候、大藏當局が財政上の見地よりして彼是申候は當然の義に候得共、工事設計にまで立入つて技術無能力者が査定する如きは、危険千萬に有之候のみならず審査範圍を超越した行爲と可申、市當局が憤慨するも無理からざる義と被存、當局の反省を求むる次第に御座候。

來る二十五日より三日間内務省土木局に於て重要都市道路主任の打合せを開會する由に有之候、此會議は大正十一

年末開催され都市街路行政に必要な事務技術の兩方面に亘り詳細に論議し其の結果は各都市關係者に非常の好資料を與へたるやにて、毎年開會する申合せなりしも其の後機會なく爲に今日に相成候趣に有之、其の席上に於ては各都市が研究施設したるものゝ自慢話も不尠あるやに及聞候、本年は街路費國庫補助に關し打合せを爲すのが主なる目的の由に候へ共、此の他目下各都市に於て問題と相成居候、道路工事費受益者負擔制度の成績を徴し之に依つて適當の負擔制度を樹てむとする由に有之、又技術に關しては安全地帯の構造及其の施設方法、鋪裝工事街角の剪除方針等の十數項に亘り論議せらるべく、其の結果は次號に於て報道可致、炎暑に惱されて筆も走り不申候に付是にて擱筆致候。

敬具

◇ × ————— × ◇